

総務教育常任委員会資料

(令和8年8月21日)

ページ

- 「とっとりワクスタFES(第2弾)～おしごと体験in倉吉～」の開催結果について

【人口戦略課】・・・2

人口戦略推進本部

「とっとりワクスタFES（第2弾）～おしごと体験 in 倉吉～」の開催結果について

令和8年8月21日
人口戦略推進本部人口戦略課
商工労働部雇用人材局雇用・働き方政策課

若者と企業の接点を創出し、若者に鳥取で学び暮らす楽しさを伝えることにより、学生のとっとりインターンシップへの参加を促進するとともに、鳥取県内就職の意欲を高めることを目的としたイベント「とっとりワクスタFES(第2弾)～おしごと体験in倉吉～」を開催しました。

- 1 日 時 令和8年8月12日(水)午後1時～4時25分
- 2 場 所 倉吉体育文化会館(倉吉市山根529-2)
- 3 参加者 高校生、大学生、保護者等 111名
参加企業数 36社(出展35ブース)



＜イベント（企業ブース）の様子＞

4 内 容

（1）体験・企業ブース

参加者は、全35ブースの中から、自身が興味・関心のある仕事体験を最大4種類選ぶことができ、「高タイパ(タイムパフォーマンス)」のキッザニア型※イベントとして実施した。

※キッザニア…子ども向けに楽しみながら仕事の仕組みを学べる職業体験型テーマパーク

なお、仕事体験以外にも、職業訓練紹介コーナーやインターンシップ・就活相談コーナーを設け、参加者の希望に合わせて個別に対応した。

〔出展ブースの例〕

- ・流通(株)【サービス業】:「ホテル星取テラスせきがね」を舞台として記念日宿泊プランを企画した。
- ・馬野建設(株)【建設業】:工事をスムーズに進めるための段取りや調整といった施工管理の仕事をカードを使ってゲーム感覚で楽しみながら体験した。

（2）「ワクワク」できるコンテンツ

仕事体験以外にも学生が「ワクワク(楽しみながら参加)」できるよう、多様なコンテンツを設けた。

- ・人生を振り返る「自分グラフ」を作り、若手社員のアドバイスを受けて、自分に合う仕事のヒントを得た。
- ・参加企業が考えた「鳥取のいいところ」を展示し、それに共感した参加者はシールを貼付した。
- ・とっとりへウェルカニネットワーク(県外にいても鳥取とゆるくつながる学生等によるネットワーク)の学生等と一緒にしゅんしゅん傘踊りを体験した(当日司会も学生等が担当)。
- ・地元の隠れた魅力発信として、学生目線の鳥取あるあるを展示した「とっとりビア～とっとりあるある展～」をとっとりへウェルカニネットワーク協力のもと開催した。
- ・開催地の魅力発信として、倉吉市による観光パネル展示や地元クイズ、ノベルティプレゼントを実施した。
- ・万博レガシーの発信として、砂の触り比べ(鳥取砂丘、ヨルダン)、虫眼鏡型デバイスの実物展示(万博で使った実物に触れてもらう)を実施した。
- ・星取県の魅力発信として、移動プラネタリウムによる夏の夜空の投影(専門家の解説付)を実施した。

（3）参加特典

イベント参加者に以下の特典をプレゼントした。

- ・特典①:LINEとりふるでの参加者に、とりふるポイント300ポイントをプレゼント
- ・特典②:4つのブース体験者に、寿製菓(株)の「砂丘朝焼けガレット」プレゼント
- ・特典③:4つのブースを体験した学生で、とっとりインターンシップに1日以上参加した場合に、最大9万円の交通費・宿泊費を助成

5 参加者の声

（1）参加者側

- ・「合同説明会とは違って、企業からの一方的な説明ではなく、企業担当者と対話しながら双方向の主体的な話ができた。」
- ・「以前から気になっていた企業がありウェブサイトは見ていたが、直接企業から話が聞けて、その企業が大事にしている精神等も聞けて、愛着が湧いた。」

（2）企業側

- ・「採用担当をしていると(書類等で)見えない学生を相手にしている感覚だが、今回直接、生身の学生とコミュニケーションが取れて、企業側のモチベーション向上に繋がった。」
- ・「学生と双方向の交流ができたので、学生との距離を近くに感じる事ができた。」

6 今後の日程

本イベントは、ターゲットや内容を変えながら、今年度残り2回開催予定(全部で年4回)。

- 7月12日 鳥取県民体育館(開催済)
- 8月12日 倉吉体育文化会館(今回のイベント)
- 12月下旬 米子コンベンションセンター、鳥取産業体育館
- 1月下旬 倉吉未来中心